

教育サポート報告

板垣恒夫・大谷諭

【教育の現場】

新陵東小学校 小学1年生～小学5年生の29名と父兄および先生方

平成15年7月12日(土)午前9時～12時

担当講師：板垣恒夫・大谷諭

サポート：五十嵐俊彦・佐藤隆一・佐藤芳伸・対馬一男・北越 正生・

石原範幸(フォテクノ北海道)

【行事名】

「新陵中学校区 三校交流会(親子で楽しむ科学の面白さ)」

1：空中散歩(空から見た社会生活)

空中写真は空中から撮影される写真一般を言います。この交流会では立体視のできる新発寒地区の空中写真(平成14年5月撮影)を使用しました。写真は見方によっていろんな情報を教えてくれます。そんな新陵東小学校のある新発寒の空中写真から自分達が学び遊んでいる場所を小学生はどのように観察するのでしょうか。結果が楽しみです。

2：豊平川の橋のはなしと橋の模型づくり(トラス橋の模型)

札幌市の豊平川には実に楽しい夢のふくらむ「橋」がたくさんあります。そんな「夢のある橋」はどのようにしてできたのでしょうか。橋の模型づくりはトラス橋です。完成が楽しみです。

【交流会の構成】

空中散歩：空中散歩は「実体鏡で覗く新発寒空中散歩 実体写真の作成とその写真による空中散歩 新発寒を地形図から学ぼう 新川自然散歩」の4部で構成されています。

橋の模型づくり：はじめに「プロジェクターによる豊平川のいろんな橋のおはなし」を、次に「橋の模型づくり」です。

【交流会の風景】

新発寒空中散歩の交流風景

橋の模型づくり風景

【感想】

空中散歩

空中散歩への参加は小学1年生から5年生までの7名と父兄の方5名です。それから担当の先生と校長先生も参加しました。4部構成を3時間でクリアしました。1年生も立派に空中散歩ができました。自分の家、友達の家、小学校、新川のみどりを、お母さんと一緒に感動して空中散歩していました。地図のお話は北越サポーターが「昔の新発寒の状況、最近の市街化の状況」についてやさしく説明してくださいました。新川自然散歩では、河川敷に生えていたシラカバの高さをワイゼ式測高器で測定しました。ワイワイガヤガヤの楽しい3時間でしたが、みなさん成果を持ち帰ったものと思います。

橋の模型づくり

橋の模型づくりへの参加者は小学1年生から5年生までの22名と父兄の方16名および担当の先生です。豊平川に架かっている橋のはなしは興味深く聞いてもらいました。橋の模型づくりでは子供達の競争もあり、真剣な様子を見ることができました。できあがった「トラスト橋」は残った器材ともども大事に持ち帰ったようです。とくに1年生が真剣に取り組み立派にトラスト橋を完成させたことは感激でいっぱいです。子供達にどんな印象を与えたのか少々不安ですが、楽しんでもらったことと信じています。